② 利用側業務システムは、「格納完了通知ファイル」が作成済みであることを、マネージドサービス又はジョブの制御、監視等を行うツールによるファイル探知機能、ポーリングまたは時間起動で検知すること。

2.3.6. 格納完了通知ファイル形式

① 格納完了通知ファイルには改行区切りで以下情報を含めること。
1行目：連携ファイルのファイル名
2行目：連携ファイルのファイルサイズ（バイト）
3行目：連携ファイルのヘッダ情報を含まない実データの行数

例）
003o00100v0100_20220126155422111_1.csv
1234567
1234

2.3.7. 格納完了通知ファイル作成単位

① データが0件の場合も格納完了通知ファイルを出力すること。なお、非稼働日については、自治体の判断とする。

2.3.8. 連携ファイル取込

① 利用側業務システムは、オブジェクトストレージが提供するツール（API等）を利用し、連携ファイルを取込できること。

② 連携ファイルを取り込む際に、連携ファイルのファイルサイズ（バイト）「ヘッダ情報を含まない実データの行数」が、格納完了通知ファイルに記載の「2行目：連携ファイルのファイルサイズ（バイト）」「3行目：連携ファイルのレコード数」と整合性が取れていることを確認すること。

③ 連携ファイル名末尾の連番（タイムスタンプが重複しない場合は 1 固定として、重複する場合に限りカウントアップする）で連携ファイル順序性チェックを行うこと。